

私たち(五名)は、皆様から負託された県議会議員という重責を、初心を忘れず切磋琢磨しい、輪(和)を重んじながらも積極果敢に政治課題や地域課題に取り組む仲間であり続けると誓い五輪会といたしました。



浜松市東区 中沢公彦 三島市 宮沢正美 御前崎市 藪田宏行 浜松市中区 竹内良訓 藤枝市・志太郡 落合慎悟



文部科学省大臣室にて塩谷大臣に表敬訪問

## 視察研修レポート

9月2～3日三島地区視察



### 県立三島長陵高等学校(三島市)

長泉高校の伝統を生かし、多様な学習ニーズに対応できる教育システムを持つ学校として、生徒の多様な能力や進路希望に柔軟に対応するため、単位制による新しいタイプの学校として平成20年に開校した。



### 国立遺伝学研究所(三島市)

大学共同利用機関法人で情報・システム研究機構を構成する。総合研究大学院大学生命科学研究科遺伝学専攻があり、大学院教育も行われている。15の研究部門と5の研究施設がある。ゼブラフィッシュの研究室を視察した。



### 動物飼育実験棟(マウス開発研究室)

鉄筋3階地下1階のビル内に15000頭のマウスを飼育し、遺伝の研究をしている。遺伝学は動物が10代経ないと研究結果がでないとのこと。マウスの研究では発がん、遺伝子異常、生殖などの分野で利用されている。

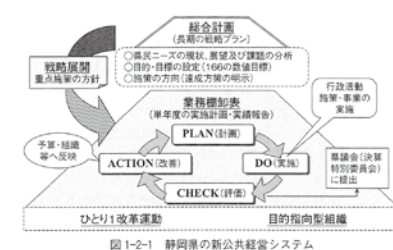


### 三島市長に表敬訪問

小池三島市長は三島市活性化を考えて、三島を売り物にしたB級グルメを創りたいと「三島コロッケ」を開発、火山灰で育った少し粘りのある三島じゃが、ものコロッケを売り出したと披露してくれた。

## 静岡県の行政改革「新公共経営NPM」について

平成6年度に石川知事が「行政の生産性の向上」をスローガンに掲げ、当時、県立大学の坪権教授の指導で「今までの仕事のやり方、仕組み、プロセスをすべて根本から否定・放棄して、ゼロベースで新しい仕組みを作る」という手法を用いて職員の意識改革に取り組むと共に、業務の見直しなど、様々な取り組みを始めた。事務ハーフ運動では2年間で文書量が47%、会議回数49.4%、決裁印は32.4%も減少した。平成9年度から当時県大教授の北大路信郷教授の指導により、「なぜこの行政任務を行っているか分かり、重複や無駄の存在など課題もみえて、さらに行政評価としても活用できる」という「業務棚卸表」を作製することとなった。県庁内の各室で作戦を構築し、これに指標を組み合わせて業績の測定を行い、それに基づいて作戦の評価・改善を行う仕組みである。15年度からは作戦の実施過程の評価を行う欄も設け、評価と改善措置について明記することになった。決算委員会でも業務棚卸表のおかげで業務の目的や実施過程、改善措置などが一目で分かるため、各部局の仕事ぶりが良く分かって審査しやすかった。平成10年度から「速く」「ムダなく」「いい仕事」をスローガンに職員提案制度「ひとり1改革運動」を開始した。20年度までに約10万件の取組があり、全国的にも表彰されるような優秀な事例もみられる。



## 落合慎悟県議、初めての決算特別委員会(10月30日～11月19日)

### 「19年度決算報告」決算委員会では全部局に事業成果について問い質しました



決算委員会は代表監査委員から19年度決算及び基金運用状況審査報告を受け、10月30日から11月19日まで、ほぼ毎日のように、各部局から本会計・公営企業会計の予算執行実績の説明を聞き、委員からは執行の効果や会計の不審などを質問し、意見を述べて県政の執行を正し、県民のためにより良い方向に導く役目があります。

私は、初めて委員となり、膨大な資料に勉強することが多く戸惑いましたが、各部局から詳細資料を取り寄せ、説明を受けて、少しずつ内容が分かるようになりました。そこで各部局の執行について質問ができるようになり、県政をより良くするために全部局について問い質しすることができました。

大変気を使い、ハードな決算委員会でしたが、県政全体のことが分かり、貴重な体験だったと思います。

**厚生部** 毎年指摘されている収入未済の解消や不適切な契約事務が今年も指摘されている。改善する意識があるのか?  
答：生活貧窮世帯からの徴収が困難、他県の効果的対策を検討する。再発防止のため事務処理指導の徹底と内部統制を図る。

**総務部** 消防の広域化計画を発表し、3地域にまとめるとのことだが、県の防災計画と整合性がない、消防署の意見を聞いているのか?  
答：現在各消防長から意見を聞いているところで、調整を図り、地震防災を考えて消防指令の集約化を図っていきたい。

**県民部** 40,50代の自殺者が多い。県内の多重債務者の現状と対策について何う?  
答：多重債務者は県内に表で2万人、実際には4万人いる。弁護士の相談員により、自己破産の方法や適切なアドバイスをしている。

**教育委員会** 全国テストの結果について、視察した秋田県は2年連続1位で学校改善支援プランを作成している。教育長の方針を伺う。  
答：静岡県でも検証改善委員会支援プランは作成している。今後、さらに研究し学力が上がるよう教育委員会として努力する。

**企画部** 昨年9月議会において私が提案し、即実施してくれた「県ホームページの広告掲載」について、状況を知りたい。  
答：おかげで10月から3月までの半年で広告収入が242万円あった。今後、県として収入できるアイデアを研究していく。

## 静岡県内市町の20年度財政健全化判断比率 (前回秋号の県内公立病院の決算状況に続き第2弾)

		人口	財政力	一人当たりの地方債	一人当たりの積立金残高	実質公債費比率	将来負担比率
1	下田市	25,869	0.56	372,379	19,705	17.4	129.8
2	伊東市	74,644	0.89	342,939	22,003	9.0	84.6
3	熱海市	41,101	1.04	473,764	32,605	8.2	104.1
4	伊豆市	36,441	0.62	428,237	114,812	15.1	62.2
5	伊豆の国市	50,276	0.83	330,566	71,774	12.4	80.5
6	沼津市	209,489	1.08	348,376	117,161	8.3	96.1
7	三島市	112,540	0.95	311,542	16,580	7.4	50.0
8	裾野市	53,267	1.54	312,170	173,416	8.3	15.7
9	御殿場市	86,788	1.14	312,354	36,034	10.8	107.9
10	富士宮市	123,994	0.96	267,491	16,679	15.9	128.7
11	富士市	239,328	1.17	268,790	41,312	9.2	46.7
12	静岡市	710,854	0.90	479,982	44,237	11.2	108.2
13	焼津市	120,290	0.91	336,761	33,712	14.9	112.9
14	藤枝市	130,892	0.85	405,898	73,384	16.8	144.4
15	島田市	96,949	0.85	341,280	46,728	14.9	125.1
16	牧之原市	50,115	0.88	393,641	22,407	19.2	148.7
17	御前崎市	34,900	1.48	173,187	304,052	6.0	—
18	菊川市	45,571	0.82	448,369	59,587	19.7	144.3
19	掛川市	115,361	1.01	432,476	39,950	16.5	148.8
20	袋井市	82,364	1.00	307,346	89,019	12.8	93.8
21	磐田市	167,027	0.96	364,255	49,213	14.1	124.4
22	浜松市	790,302	0.91	376,851	31,375	12.9	124.3
23	湖西市	42,490	1.23	374,764	63,040	13.6	117.5

※熱海市の連結実質赤字比率3.84%で早期健全化基準は18.29(他市については実質赤字・連結実質赤字は無し)  
※記載の無い会計は資金不足比率無し。

		人口	財政力	一人当たりの地方債	一人当たりの積立金残高	実質公債費比率	将来負担比率
1	南伊豆町	9,875	0.35	513,645	132,408	14.4	95.3
2	松崎町	8,229	0.39	444,525	170,351	8.6	55.9
3	東伊豆町	14,545	0.79	312,601	25,182	15.3	93.6
4	河津町	8,298	0.44	441,247	166,872	11.8	65.9
5	西伊豆町	10,294	0.43	625,264	141,684	15.5	81.5
6	函南町	38,897	0.79	268,475	77,245	9.6	20.0
7	清水町	31,580	1.02	253,933	43,521	8.0	20.0
8	長泉町	39,416	1.36	160,872	116,009	12.5	14.4
9	小山町	20,677	1.11	380,250	85,148	14.2	94.8
10	芝川町	9,828	0.60	394,060	75,665	12.7	98.1
11	富士川町	16,744	0.85	242,612	52,054	16.5	58.6
12	由比町	9,500	0.54	224,711	87,470	10.8	51.5
13	岡部町	12,422	0.58	380,149	104,854	10.6	31.8
14	大井川町	23,161	1.12	368,716	142,378	9.4	4.8
15	吉田町	28,964	1.22	342,149	50,088	16.2	123.5
16	川根町	5,980	0.29	534,612	153,554	—	—
17	川根本町	8,903	0.40	795,768	360,877	10.7	63.3
18	森町	20,425	0.68	295,506	65,897	14.7	76.7
19	新居町	16,810	0.84	255,028	61,618	9.6	112.7

### 資金不足比率

地方公共団体名称	特別会計名称	資金不足比率(%) 経常健全化基準20.0	地方公共団体名称	特別会計名称	資金不足比率(%) 経常健全化基準20.0
沼津市	病院事業会計	3.3	熱海市	水道事業会計	37.7
藤枝市	病院事業会計	3.5	熱海市	温泉事業会計	56.2
種原総合病院組合	種原総合病院事業会計	7.0			

※記載の無い会計は資金不足比率無し。